

株式会社 IBUKI

山形県西村山郡河北町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「脱・下請け」の道しるべ、IoT・AI活用にも取り組む「金型業界の風雲児」

- 埋め込み式各種センサーを用い、従来は匠の勘に頼っていた部分を可視化することにより、付加価値向上
- AI活用による過去の類似実績の検索・抽出システム構築に基づく、個別受注見積の技能継承
- 樹脂成形の外観処理の秀でた技術であり、二次加工が省ける「加飾」で自動車産業を中心に販路拡大

企業基本情報

所在地	山形県西村山郡河北町谷地字真木160-2
電話/FAX	0237-72-7121/0237-72-7520
URL	http://www.ibki-inc.com
代表者	代表取締役社長 松本 晋一
設立	1956年
資本金	7,800万円
従業員数	61人



会社概要

射出成形用メーカーである同社は、デジタル家電向け金型の不振により一時は経営破綻寸前まで追い込まれ、投資ファンドに買収されるなど売買が繰り返されてきた。2014年9月、製造業向けコンサルティングの「O2」（東京都品川区）による買収を契機に、大胆な社内改革を進め、業績が好転している。また、IoTの導入・推進等により、各方面から注目を浴びている企業。



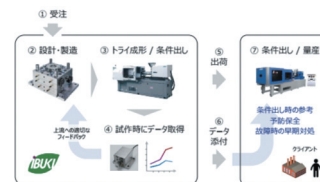
IoT 金型

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

IoT活用による「金型の息づかい」の見える化

金型内部に各種センサーを設置し、これまで匠の勘に頼っていた成形中の「樹脂の流動」や「金型の挙動」を計測、これらを可視化し、付加価値向上を目指す取組を行っている。システム上に表示された計測データを分析し、異常値を検出した際にアラートを発する不具合予測機能も備えたシステムを同社内で活用している。

加えて、取得した上述のデータを金型とともに顧客に提供する。これにより、顧客は成形条件設定の時間短縮や予防保全にその情報を役立てることが可能。



IoT ビジネス展開

AIを活用した個別受注見積の技能継承

これまで工場長が顧客からの様々な見積依頼を処理してきたが、対応できるメンバーが限定されていることによる業務の質の低下などの課題が顕在化してきた。人材育成も、過去実績を参考に工場長による直接指導となり、手間とコストが掛かることになる。上述課題の解決にむけ、グループ会社のLIGHTzが開発したAI(ORGENIUS)を活用し、過去の類似実績の検索・抽出システムを構築。

実績検索が大幅短縮されるとともに、思考の流れを基にした業務フロー作成なども可能となった。



工場長のブレインモデル

樹脂成形技術「加飾」で自動車産業を中心に販路拡大

IBUKIの加飾技術は、塗装、フィルム転写とは異なる仕上げ、風合いを表現できるとともに、二次加工レスのプロセス改革への貢献もできる。顧客のイメージを聞き出し、オリジナルの加飾を創ることができる。加工の質を高めると共に、バラエティを増し、加工可能なサイズは1m。また、曲面への加工も可能である。

※加飾 金型の表面にヘアラインやカーボン調など微細な模様を加工しておくことで、成形品に転写した際、質感や手触り感など、高級感を増すことができる。



加飾技術の紹介